令和２年度
社会福祉法人ファミリーケアサービス
事　業　報　告

目　次

事業報告

社会福祉法人ファミリーケアサービス　…p3

すこやか横手　…p3 ～ p5
　特別養護老人ホームすこやか横手
　ショートステイすこやか横手（介護予防）
　ケアハウスすこやか横手
　老人介護支援センターすこやか横手
　すこやか横手居宅介護支援センター
　デイサービスセンターすこやか横手（第１号通所）
　すこやか横手ホームヘルパーステーション

すこやか大雄　…p5 ～ p6
　特別養護老人ホームすこやか大雄
　ショートステイすこやか大雄（介護予防）
　老人介護支援センターすこやか大雄

すこやか森の家　…p6 ～ p7
　特別養護老人ホームすこやか森の家
　ショートステイすこやか森の家（介護予防）
　デイサービスセンターすこやか森の家（第１号通所）

シルバードームいきいきの郷　…p7 ～ p9
　特別養護老人ホームシルバードームいきいきの郷
　ショートステイシルバードームいきいきの郷（介護予防）
　デイサービスセンターシルバードームいきいきの郷（第１号通所）
　増田町居宅介護支援事業所
　増田町在宅介護支援センター

すこやか館合　…p9 ～ p10
　特別養護老人ホームすこやか館合
　ショートステイすこやか館合（介護予防）
　小規模多機能型居宅介護事業所すこやか館合（介護予防）
　居宅介護支援事業所すこやか館合

児童発達支援事業「モモの家」　…p10～ p11

県南愛児園「ドリームハウス」　…p11

横手市サンハイム　…p11

障害者支援施設「ひまわり社」　…p12

事業報告（統計資料）

すこやか横手 …p15 ～ p17

すこやか大雄 …p18 ～ p19

すこやか森の家 …p20 ～ p21

シルバードームいきいきの郷 …p22 ～ p24

すこやか館合 …p25 ～ p27

児童発達支援事業「モモの家」 …p28

県南愛児園「ドリームハウス」 …p29

横手市サンハイム …p30

障害者支援施設「ひまわり社」 …p31

令和２年度社会福祉法人ファミリーケアサービス事業報告

１．社会福祉法人ファミリーケアサービス

人材の確保・定着・育成ができる組織づくりを目標に、人事考課システム、及び適切な任用と評価方向の構築に努め、考課・評価者が共通の基準に基づいて実施できるように取り組んだ。

横手市の福祉施設・事業の民営化方針に対して、市と協議等を重ねている。その中で愛児園については、令和３年度より当法人に移行となった。

コロナ禍において、感染状況の把握に努めると共に、その時の状況に応じた感染予防への行動を職員に周知した。

法人セミナーは、新型コロナウイルス感染の拡大に伴い中止とした。

新型コロナウイルス感染対策の支援金を利用して ICT の導入を進めた。今後は有効活用することで、感染予防のみならず職員の負担軽減にも結び付けたい。

２．特別養護老人ホームすこやか横手

利用率については、退居者数が前年の半数程度にとどまるも、入院者数が増加した事もあり、大幅な増加には至っていない。

年度の初めに腰痛により就労制限や休みをとる職員が数名見られたが、その後移乗介助の見直しを行い、スライディングボードの活用等を徹底した以降は腰痛による業務制限を伴う事例もなくなり、この部分については今後も継続していきたい。

新型コロナウイルス感染対策により面会の制限等を行わざるを得ない状況においても、感染対策を講じながら可能な限り面会の機会を設けたり、暑中見舞いや寒中見舞いによる近況報告、またオンラインでの面会により入居者と家族との関係性が途切れないよう努めた。看取りのケースにおいても県外の家族であったが可能な限り立ち会っていただく事で、本人、家族共に大変喜んでいただいた。

＜提供目標と実績（定員５０名）＞

目標　年間延べ 17,520 人(48.0 人/日　稼働率 96.0 %)

実績　年間延べ 17,421 人(47.7 人/日　稼働率 95.6%)

＜要因＞

前年に比べ入院者数が増加。

３．ショートステイすこやか横手（介護予防）

定期利用者の認知症の進行や、また多動な認知症の方・転倒リスクの高い方の受け入れが増加したことにより、マンツーマン対応等が必要な場面が多くなっている。そのような中、職員それぞれでの気づきにより、事故防止の工夫・実施がなされ、大きな事故やケガの発生には至らなかった。

利用者のニーズを踏まえて不定期ではあるが余暇活動を実施し楽しんで頂くことができ、また新たに広報の発行等も行い、家族との関係構築にも努めた。

＜提供目標と実績＞

目標　年間延べ 6,716 人(18.4 人/日　稼働率 92.0%)

実績　年間延べ 6,586 人(18.0 人/日　稼働率 90.3%)

＜要因＞
定期利用者（長期）の逝去、それに伴う新規入所の調整も多く必要であったが、特に認知症の方・転倒リスクの高い方等の利用が多かったこともあり、利用状況にも考慮した受け入れ調整に時間を要してしまった。

４．ケアハウスすこやか横手

入居者の自主性を尊重し日々の生活が“生き生きとした時間”が持てるように家族や各関係機関（東部包括・西部包括・居宅介護支援事業所・訪問介護・訪問リハビリ）との連携、協力のもとで生活ニーズに合わせたサービス提供を円滑に実施する事ができた。

一方、一般（自立）型ケアハウスではあるが、入居者の日常生活動作の低下、認知症の進行、金銭管理や内服管理が行なえない、また体調不良などが多く見られるようになっている。平均年齢が男性８２才、女性９０才であり、常時介護が必要である入居者が半数程になっている。

今後、介護の必要性が高まっていく中で、特に認知症ケアへの対応と、職員間での情報共有（入居者の状態とその対応等）が課題である。

５．老人介護支援センターすこやか横手

地域の高齢者等から、様々な相談に総合的に応じ、必要に応じた各種の保健・福祉サービスが受けられるように調整した。また、制度の狭間で適切なサービスを受けられない場合でも、行政や社会福祉協議会、病院等への働きかけや連携すること、複合世帯ニーズ・孤立している世帯・経済的困窮者等の支援を行った。

引き続き、横手市からの受託事業（横手市地域包括支援センターのブランチ）として、地域の要援護高齢者及びその家族の福祉の向上を図っていく。

６．すこやか横手居宅介護支援センター

新型コロナウイルス感染拡大や大雪の影響により、居宅介護支援の業務範囲を超える支援を行った年度となった。単身世帯及び高齢世帯では、面会制限、帰省困難や県外往来により介護サービスを受けられない等、必要な支援を受けることができない状況となり、本来は家族や行政、公的機関で担う役割を介護支援専門員が対応して利用者の生命や生活を守れるように支援を行った。

地域から要請されて担う業務は介護保険の枠を超えて拡大する一方で、家族介護者の介護離職防止のための相談支援、災害時の支援等、地域を支える担い手として、より身近で安心した相談に応じられるよう、介護支援専門員の資質向上の必要性がある。

＜提供目標と実績＞
目標:介護給付 170 件/月 予防給付 25 件/月
実績:介護給付 144 件/月 予防給付 22 件/月
＜要因＞
人員配置（老人介護支援センター兼務）のため

７．デイサービスセンターすこやか横手（第１号通所）

新型コロナウイルス感染流行により、利用者が過ごす環境や対応の変更を余儀なくされ、その対応に難しさがあった。また、ボランティア団体の受け入れが出来なくなり、利用者

の楽しみをどのようにすべきか悩みながら対応してきた。当初は行事も自粛してきたが、感染対策を行いながら行事を行い、利用者にも笑顔がみられた。
　定年退職等でベテラン職員が少なくなっている現状において、職員個々の技術を向上し、チームとして同じ方向を目指すことで、サービスの充実や業務改善等と図っていきたい。

＜提供目標と実績（定員３０名）＞
　目標 年間述べ 5,352 人(17.1 人/日 利用率 57.2%)
　実績 年間延べ 4,203 人(13.4 人/日 利用率 44.7%)
＜要因＞
　ショートステイ利用への移行者が多かった。また年度当初に職員体制が整わず、新規利用者受入れに制限が生じた。

８．すこやか横手ホームヘルパーステーション
　介護職員不足の解消と経営改善への対応として、平成２９年８月１日から事業を休止する。現在も休止中。

９．特別養護老人ホームすこやか大雄
　体調不良等により、休暇される職員がいたが、比較的に安定した体制でサービスの提供を行える事ができ、会議や研修、行事等の取り組みも計画通り実施する事ができた。
　また、施設での看取りを希望されるご家族もおり、今年度は退所者１４名の内、６名の入居者が施設で最後を迎えた。

＜提供目標と実績（定員５０名）＞
　目標 年間延べ 17,385 名(47.5 名 利用率 95.0%)
　実績 年間延べ 16,788 名(46.0 名 利用率 92.0%)
＜要因＞
　情報収集と事前調査の日程調整に時間がかかり、新規入居が遅くなったため、目標達成には至らなかった。

１０．ショートステイすこやか大雄(介護予防)
　年間を通して職員体制が十分に整っているとは言えなかったが、その中においても利用者の在宅での生活に焦点をあてたサービス提供に努めた。認知症の方が多く対応に苦慮する面もあったが、職員間で対応を検討し、家族や担当介護支援専門員と情報共有しながら支援を行なった。
　また、新型コロナウイルスの影響で行事を実施する機会が少なかったものの、収穫作業やユニット調理などを利用者と一緒に行うことができた。

＜提供目標と実績（定員１０名）＞
　目標 年間延べ 3,650 名(10.0 名　利用率 100.0%)
　実績 年間延べ 3,586 名(　9.8 名　利用率 98.3%)
＜要因＞
　体調不良等による利用中止があり利用率の低下がみられた。新規利用者の確保に努めたものの、スムーズな利用調整ができない時もあり目標を下回った。

１１．老人介護支援センターすこやか大雄

相談窓口業務において、施設入所関係が殆どであった。
ケア会議・小ネットワーク会議等へ参加し地域状況の把握に努めた。
また大雄支えあいネットの構成員として会議に参加し、協議体活動への協力を行った。

＜活動実績＞
内　容　大雄地区ケア会議出席(６，１０，１２，２月出席)
大雄地区小ネットワーク会議出席（大雄地区 20 ヶ所実施 / 10 ヶ所へ出席）
大雄支えあいネット(大雄地域第２層協議体)構成員として参加
＜相談実績＞
相談件数：２１５件(施設入所関係２１５件)

１２．特別養護老人ホームすこやか森の家

新型コロナウイルスの影響により、外出等の活動が行えなかったが、季節に応じ各ユニットで行事を行うことで季節感を感じて頂くことはできた。また、家族の面会が制限され面会ができない状況が続いているが、定期的に家族へ施設内行事の様子を写真で送付することや、電話での状態報告を行い家族との関係が希薄にならないよう努めた。

個別ケアについては、入居者の負担にならないよう軽作業や軽体操等を実施することで身体機能維持や認知症進行予防につながっているため今後も継続していけるよう対応していく。

利用状況に関しては、１２月に入り入院者が増え、入居調整もコロナ過で本人と面談のできないことが多く調整に時間を要した入居者もいたが、退去者が少なかったため安定した稼働を保つことができた。

＜提供目標と実績（定員３０名）＞
目標 年間延べ 10,512 人(28.8 人/日 利用率 96.0%)
実績 年間延べ 10,479 人(28.7 人/日 利用率 95.7%)
＜要因＞
新型コロナウイルスの流行により面談できない時期があった。
下半期に入院者が増加した。

１３．ショートステイすこやか森の家（介護予防）

新型コロナウイルスの流行により、職員全員の感染への意識が高まり、日々の手洗い、消毒うがい等の徹底を実施した。長期利用の方については、施設の生活が中心になってしまい、そのため職員主体になってしまう事があった。そのため今後は、本人・家族の意向もくみ取りながら、退所後の在宅生活がスムーズにできるように意識したケアを引き続き対応していく。

利用状況に関しては、コロナ禍に伴い利用を控えて頂いたケースや、職員体制が整わなかった状況により目標を下回ったが、職種間での協力体制を強化し支援に当たる事ができた。

＜提供目標と実績（定員２０名）＞
目標 年間延べ 6,752 人(18.5 人/日 利用率 92.5%)
実績 年間延べ 6,198 人(17.0 人/日 利用率 84.9%)
＜要因＞

長期利用者の体調不良や他施設入所による利用減少が見られた。
新型コロナウイルス流行により利用キャンセルとなる等の影響が目立った。

１４．デイサービスセンターすこやか森の家（第１号通所）

新型コロナウイルスの感染対策の強化を図りながら稼働の安定に繋げることができた。しかし、冬期間に入ってからは、近年にない大雪により、除排雪が困難な利用者は欠席となり、また、感染対策のため、利用者のみならず、家族の状況によっても利用を控えていただく対応を取らざるを得なかった。そのため稼働の低下の要因の一つとなった。

また、計画的に毎月レクリエーションを実施し、機能訓練としての取り組みを行ってきたが、感染対策強化のため、季節外出や調理活動の実施は困難となり、それらに代わる内容のレクリエーションを実施し利用者を安全・安心に受け入れることができた。

＜提供目標と実績（定員２５名）＞
目標 年間延べ 6,223 人(17.0 人/日 利用率 68.0%)
実績 年間延べ 6,113 人(16.8 人/日 利用率 67.0%)
＜要因＞
感染症対策のため２週間の利用休止のお願いをしたことによる影響。
新規利用者依頼の減少。

１５．特別養護老人ホームシルバードームいきいきの郷

行政並びに他居宅支援事業所、その地域住人との連携のもと、社会的、経済的困窮者の受け入れを進め、またその家族の支援も実践できた。

退所者については、元々基礎疾患のある方が多数で、看取り期を迎え死亡退所数も１８名、また高度医療が必要で、療養病床に転院、長期入院され退所した方が２名と例年より多かったが、利用率目標を達成することができた。

新型コロナウイルスによる影響で、各種行事、ボランティアの受け入れ等は中止となったが、幸い感染対策と職員の高い意識付けが奏功し、新型コロナウイルスをはじめ各種感染症罹患防止が成された。

＜提供目標と実績（定員５０名）＞
目標 年間延べ 17,337 人(47.5 人/日 利用率 95.0%)
実績 年間延べ 17,611 人(48.3 人/日 利用率 96.6%)
＜要因＞
入所者の健康状態の安定に努め、嘱託医、協力病院との密な連携のもと重症化を防ぎ、施設内において治療できたことで入院率を抑えることができた。

１６．ショートステイシルバードームいきいきの郷（介護予防）

特養併設施設の特性を活かし、行政、各事業所との連携も密に行い、困難事例も含め積極的な受け入れを行った。件数として増加傾向にあったが、利用中の体調不良や定期利用者の入院が続き年間目標には届かなかった。コロナ禍でもあり慎重な入所調整となるが、高水準なサービスを継続して提供できるよう取り組んでいきたい。

＜提供目標と実績（定員１１人）＞
目標 年間延べ 3,623 人(9.9 人/日 利用率 90.0%)

実績 年間延べ 3,537 人(9.7 人/日 利用率 87.9%)
＜要因＞
利用中の体調不良や定期利用者の入院が続き、利用調整が難しかった。

１７．デイサービスセンターシルバードームいきいきの郷（第１号通所）

年間平均稼働が 81.88%と目標の 80%を達成することができた。前年度と比べ、入院者や体調不良で利用をキャンセルされる方は同程度だったが、キャンセル待ちの利用希望が多く、迅速に調整を行うことで、稼働を下げずに済んだ。

感染対策について、新型コロナウイルスの影響で若干名休む方はいたが、利用者家族とも感染者が出ることなかった。今後も利用者、家族と連絡を密にとりながら臨機応変に対応していきたい。

＜提供目標と実績（定員１８名）＞
目標 年間延べ 4,465 人(14.4 人/日 稼働率 80.0%)
実績 年間延べ 4,570 人(14.6 人/日 稼働率 81.9%)
＜要因＞
利用調整を積極的に行い、空きがある曜日の利用を埋めることができた。

１８．増田町居宅介護支援事業所

新型コロナウイルスの影響によりサービス事業所・医療機関との連絡調整や冬期間は大雪に見舞われ家族からの援助を受けることが出来なくなった単身高齢者や高齢世帯からの除排雪等の多くの相談を受けながら、目標を達成することが出来た。

居宅介護支援の提供のみならず、より質の高い居宅介護支援を提供できるよう定期的に事例検討や他法人との勉強会、研修会に参加し、キャリア教育の一環で行われた中学生向けの説明会へ地域貢献事業の講師としても参加した。

＜提供目標と実績＞
目標 110.0 件/月
実績 124.7 件/月
＜要因＞
要介護度が低い新規利用者が増え、施設入所や永眠による契約解除者の数が少なかった。

１９．増田町在宅介護支援センター

地域の高齢者等からの様々な相談に応じ、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう関係機関と連携を図り支援を行った。また、いきいきサロンへ講師として毎年参加しているが、今年度は初めて依頼を受けた地区もあった。

秋田県地域包括・在宅介護支援センター協議会で作成した活動事例集に執筆し、センターの取り組みを伝えることが出来た。

今年度から社会福祉協議会が主催する小ネットワーク会議へ参加し、地域の民生委員等と共に要援護者を把握し、必要に応じて各種の保健・福祉サービスが受けられるよう情報共有を行った。

２０．特別養護老人ホームすこやか館合

基本方針にある職員信条に沿った対応を心掛け、入居者の尊厳を守り安全に過ごしていただけるように努めている。各ユニットのサービスコンセプトは見直し、職員個々の意識を高め対応することができていた。

また入居者の健康管理においても、厳格な感染対策のもと新型コロナウイルス病はもとより各種感染症の流行を未然に阻止でき健康維持に努めることができた。

新型コロナウイルス感染症における社会の自粛傾向から、感染対策強化に伴い地域交流会等の取り組みが中止せざるを得ない状況だった。今後感染状況を見定め新たな視点から地域との関わり方を模索していきたい。

＜提供目標と実績（２９名）＞

目標 年間延べ 10,585 人(27.8 人/日 利用率 96.0%)

実績 年間延べ 9,533 人(26.1 人/日 利用率 90.1%)

＜要因＞

目標に比べ空床率が高くなっている。入居調整については、事前の準備を円滑に行い、速やかに入居出来るよう調整していきたい。また、入院期間は長くなる傾向にあったが、日々の医療面のケアを充実させていきたい。

２１．ショートステイすこやか館合

サービスコンセプト「よりそい」に沿って、利用者、利用者家族と信頼関係を構築すると共に身近な存在となれるよう、利用者個々の状況に合わせ、個別ケアに重点を置き、職員間での統一したケアの実施に努めた。

重点課題にも挙げている安定した稼働の確保について、各居宅支援事業所との連携を図ってはいるが、年間を通して一定の稼働を維持できず、月毎に差が出る結果となってしまった。利用者ニーズに応じた柔軟で迅速な対応、空室状況の提供等、さらに連携を図れるように取り組み、定期利用へと繋げていきたい。また、コロナ禍で今まで行えていた活動が制限されている中、利用者の日々の過ごし方に今まで以上に気を配り、楽しみと潤いのある生活の実現に向けた取り組みを積極的に実施していきたい。

障害者福祉サービスの利用者受け入れ実績がなかったが、問い合わせ等には柔軟に対応できるよう、今後も相談支援事業所との連携を図りながら、円滑に受け入れを進めていきたい。

＜提供目標と実績（２０名）＞

目標 年間延べ 5,840 人(16.0 人/日 利用率 80.0%)

実績 年間延べ 4,568 人(12.5 人/日 利用率 62.9%)

＜要因＞

長期利用の方の体調不良による入院や特養入所による減少、また定期利用者の定着が進まなかった事が要因として挙げられる。

２２．小規模多機能型居宅介護事業所すこやか館合（介護予防）

基本方針「楽しく、優しく、すこやかに」を職員信条として、目標である「安心できる地域生活の実現」に努めた。

新型コロナウイルス感染症予防・防止については、利用者、家族にも感染対策を理解、協力をしていただいた。行事は数日に分け３密にならないよう工夫して行い、外出支援については中止をした。

＜提供目標と実績(登録定員２５人)＞
　目標 月間登録者数 17.0 人(利用率 68.0%)
　実績 月間登録者数 17.5 人(利用率 70.2%)
＜要因＞
　入院等で年度当初登録者が１４名から開始。
　年間を通して入院や施設入所等、他サービスへの移行もあったが、退院後の再登録希望者や館合近隣の方々の利用希望が増えたことで大きく稼働が落ちることがなかった。
　また、新規相談は要支援や要介護１～２程度の方の長期宿泊希望が主で、登録・サービス利用には繋がらなかった。

２３．居宅介護支援事業所すこやか館合

　基本方針である、要支援・要介護状態の利用者と家族が住み慣れた自宅や地域で、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、個別ニーズを把握し、地域包括支援センターや医療機関、サービス提供事業所等との連携を図りながら、多職種協働で利用者の自立を支援するよう努めた。
　重点課題の「地域に密着した事業の展開」については、地域主体の事業や地域ケア会議等に積極的に参加し、地域の課題や自立支援型ケアマネジメント、ネットワークの構築に努め、利用者の希望や課題分析の結果に基づき総合的かつ適切なサービスを効率的に提供した。また、各種研修会、事業所内の学習会参加により専門性の確立と資質の向上を図った。

＜提供目標と実績＞
　目標　介護給付管理　月間 64.0 件
　実績　介護給付管理　月間 56.2 件　介護予防支援計画　月間 9.5 件
＜要因＞
　新規契約１８件に対し、施設入所や永眠等による契約終了が２０件だった。新規依頼時に既に終末期で、担当期間が短期間になってしまうこともあった。包括支援センターや医療機関にも働きかけたが、利用に結び付いたケースは少なく、新規依頼件数の増大には繋がらなかったが月間目標としては達成した。

２４．児童発達支援事業「モモの家」

　令和２年度の在籍児童数は６４名で、内訳は６歳児２３名、５歳児１８名、４歳児１６名、３歳児６名、２歳児１名であった。新入園児は２３名で、昨年度に比べて６名少なかった。紹介経路は例年同様、保健センターからの紹介が主であった。
　個別支援計画の作成にも重点を置き、児童一人一人の特性や保護者の願いに応じた内容を目指し、保護者との対話を重視した。また職員間で情報を共有し、対応が一貫したものになるよう努めた。９月には巡回相談（秋田県立医療療育センター・臨床心理士による発達検査）を２年ぶりに行うことができ、１８名の児童について家族や保育所と現在の発達の状況や課題について共有することができた。
　１０月には、横手支援学校・教育専門官の菅原咲希子先生を講師として第３回目の「保護者学習会」を行い、年少～年長児まで１０名の保護者（父・母・祖母）が参加した。就学への準備として参考になる内容が多く、保護者からも活発に質問が出るなど大変有意義な学習会となった。
　年５回開催した健康相談では、昨年同様法人の産業医でもある榊田理恵先生に講師を依

頼（２月）し、「子どもの心療内科外来」という普段あまり知ることができない分野について分かりやすい内容でお話をいただいた。
　保護者が安心して療育を受け、豊かな生活を送れるよう、保護者の不安や心配に耳を傾けながら、職員全体でより具体的な支援の提供に努めた。

＜提供目標と実績（定員１０名）＞
　目標　年間延べ 1,944 人（8.0 人／日　利用率 80.0%）
　実績　年間延べ 1,691 人（7.0 人／日　利用率 69.6%）

２５．県南愛児園「ドリームハウス」

　令和２年度、本園２５名、地域小規模児童養護施設６名、合計３１名でスタートしたが、年度中に５名の入所もあった。年度前半に１名の児童が施設不調に陥り一時保護から里親への措置変更、年度後半に４名の児童が家庭復帰、２名が自立することができた。家庭復帰に至るケースには弁護士が関わったケースもあり、今後の対応に課題を残した。自立した子どもの１名は進学を希望したため、法人で運用を開始した進学支援給付金を利用することができた。
　短期利用等において、ショートステイ２人で延べ日数１０日、レスパイトケア１人で延べ日数４日、緊急一時保護７名で延べ日数２５８日（依頼件数２２件）という状況だった。
　入所には至らないが相談や依頼といったケースが増加している。また、例年よりは少ない利用状況になってはいるが、コロナ禍の中で利用希望を断らざるを得ない時も多かった。
　入所児童の課題も複雑多岐にわたり、施設機能の強化や職員の支援技術の向上が求められた。当園ではここ数年、短期利用や一時保護等の地域子育て支援の福祉課題に直面しており、外部機関に職員を派遣し対応することができたが、入所施設として提供できるサービスや居室が整備されていないことが大きな課題となっている。
　民営化した児童養護施設には多くのことが求められている。一つ一つ課題を整理し、秋田県と協議を進めながら今後の施設のあり方を検討していくことになる。

２６．横手市サンハイム

　前年度にＤＶなどの暴力被害により県内外からの広域入所が増え、１４世帯の利用でスタートした。見知らぬ土地で避難する形での入所が多く、警察や弁護士、関係機関と連携を図りながら、安全に暮らしていくための環境を整える支援に多くの時間を費やしてきた。
　入所児童の半数以上が乳幼児で占められ、入浴前後や就寝前等の生活場面で預かり保育を行い忙しい時間帯の母のサポートをしてきた。
　地域で自立した生活を目指すため、養育能力を高めたり就労したりする等、母自身がレベルアップできるよう働きかけてきた。しかし、ＤＶ被害者特有の精神不安や気持ちの揺れなどから異性を頼った生活を求める傾向にあり、退所にあたるステップとして関係機関との会議を重ねるも経済面等安定せず課題が残ったままの退所世帯も相次いた。
　新型コロナウイルスの流行に伴い、施設での感染対策の他各家庭にマスクや消毒液等を配布するなどして感染予防に努めてもらった。又、コロナ禍で、恒例の親子バス旅行など多くの行事は出来なかったが、感染防止に努めながら、規模を縮小したり個別に行ったりなどして行事を楽しんだ。
　引き続き、入居者の増加と認知度を上げる取り組みと、安全で充実した施設生活が送れるよう努めていきたい。

２７．障害者支援施設「ひまわり社」

新型コロナウイルス感染防止において、マスクの着用、手洗い、うがいの励行が習慣化されてきた。また、レクリエーションや行事が中止となる中で、施設内で縮小しながら食事会等を開催できた。

就労継続支援Ｂ型の生産活動は個々の能力において従事しているが工賃アップには至らなかった。生活介護では、行動障がいの利用者に創作的活動に重点をおき一定の効果が期待できた。

利用率については、通院や体調不良で休まれる方や、定着した利用が出来ない利用者がおり前年度より下がった。

特定相談支援事業では年度目標であった月平均１５件を達成した。しかし、障害児相談支援事業ではコロナ禍の影響により、利用者（保護者）との面談の機会をなかなか設定できず定期的なモニタリングを実施出来なかった。その為、年度途中より文書によるモニタリング実施に至った。

資料内の用語について

※インシデント報告

＜事　故＞
　県および市に報告したもの。
　（例：転倒してケガをしたために、報告した。）

＜インシデント＞
　何らかの事象が生じたもの。
　（例：転倒したが、ケガはなかった。＜この場合でも状況に応じて報告したものは、事故に区分＞）

＜ヒヤリ・ハット＞
　何らかの事象が生じそうになり、ヒヤリ・ハットしたもの。
　（例：転倒しそうになった。）

施設別利用実績

区分	施設	定員	利用率目標（%）	年間延利用数（人）	1日平均（人）	利用率（%）
特養	すこやか横手	50	96.0	17,421	47.7	95.6
	すこやか大雄	50	95.0	16,788	46.0	92.0
	すこやか森の家	30	96.0	10,479	28.7	95.7
	いきいきの郷	50	95.0	17,611	48.3	96.6
	すこやか館合	29	96.0	9,533	26.1	90.1
計		209		71,832	196.8	94.0
ショートステイ	すこやか横手	20	92.0	6,586	18.0	90.3
	すこやか大雄	10	100.0	3,586	9.8	98.3
	すこやか森の家	20	92.5	6,198	17.0	84.9
	いきいきの郷	11	90.0	3,537	9.7	87.9
	すこやか館合	20	80.0	4,568	12.5	62.9
計		81		24,475	67.05	84.8
デイサービス	すこやか横手	30	57.2	4,203	13.4	44.7
	すこやか森の家	25	68.0	6,113	16.8	67.0
	いきいきの郷	18	80.0	4,570	14.6	81.9
計		73		14,886	44.78	64.5

資料１　すこやか横手

特別養護老人ホーム

１．年齢階層（令和３年３月３１日現在）

平均　：　男性　　83.6　歳　　女性　　88.5　歳

	～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90～94 歳	95～99 歳	100～歳	合計
男	0	0	1	2	1	1	1	1	0	7
女	1	2	0	2	5	10	8	10	5	43
合計	1	2	1	4	6	11	9	11	5	50

２．入居期間別状況（令和３年３月３１日現在）

	～1 年	1～2 年	2～3 年	3～4 年	4～5 年	5 年～	合計
男	4	1	1	0	0	1	7
女	4	6	6	7	6	14	43
合計	8	7	7	7	6	15	50

３．要介護度（令和３年３月３１日現在）　平均　4.17

	1	2	3	4	5	合計
男	0	0	2	1	4	7
女	1	1	5	17	19	41
合計	1	1	7	18	23	50

４．退居理由（令和２年４月１日～令和３年３月３１日）

	在宅復帰	死亡	長期入院	合計
男	0	4	0	4
女	0	2	0	2
合計	0	6	0	6

５．インシデント年間集計（令和２年４月１日～令和３年３月３１日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意　見	その他	合計報告数
15	134	29	0	0	0	178

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
13	16	3	10	8	2	96	1	6	1	22

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
0	0	0	0	0

ショートステイ

１．延べ人数及び介護度

区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
利用延べ人数	561	542	529	562	563	536	551	507	543	575	538	579	6586
平均介護度	3.55	3.2	3.26	3.45	3.24	3.27	3.17	3.19	3.18	3.08	3.05	3.00	3.23

２．インシデント年間集計（令和２年４月１日～令和３年３月３１日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意　見	その他	合計報告数
19	27	12	4	0	0	62

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
17	7	0	4	4	0	11	4	7	0	4

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
3	0	1	0	0

ケアハウス

１．入居・退去状況

①　平均在籍期間（令和３年３月３１日現在）

在籍年数	1~6ヶ月	1~2年	3~4年	4~5年	6~7年	8~9年	10年~	平　均
人　数	0	7	1	2	3	2	0	4.0

②　年度内在籍数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延人数
男	5	5	5	5	5	5	6	6	6	5	6	6	65
女	10	10	9	9	9	9	8	8	8	8	9	9	106
計	15	15	14	14	14	14	14	14	14	13	15	15	171

老人介護支援センター

1.相談件数 種別

相談件数　　重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談	4	6	2	7	6	0	4	1	4	6	4	0	44
継続相談	0	1	1	0	0	2	0	0	0	3	0	1	8

相談経路　　重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪　　問	1	0	3	1	0	1	1	0	1	4	0	1	13
電　　話	2	7	0	6	6	0	3	1	3	5	2	0	35
来　　所	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	4

相談種別　　重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護相談	4	7	3	7	6	2	4	1	3	7	4	0	48
福祉事業	0	6	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	9
医療･入院	2	3	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	9
施設入所	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	9
各種申請代行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
あんしんﾊﾞﾄﾝ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認知症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
高齢者虐待	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2

居宅介護支援センター

１．ケアプラン介護度別保険請求及び予防プラン・認定調査件数

介護度	%	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	24.4	33	32	31	33	34	37	38	37	37	37	38	37	424
2	33.5	42	50	52	21	21	48	48	48	47	47	47	51	582
3	21.2	31	33	29	30	30	31	30	31	31	33	29	30	368
4	11.3	19	20	17	17	17	17	21	16	15	13	12	13	197
5	9.5	16	16	17	17	14	16	14	14	12	10	10	9	165
合計	100	141	151	146	148	146	149	151	146	142	140	136	140	1736

（予防プラン・認定調査件数）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防	件数	22	21	22	21	21	21	22	22	23	20	22	23	230
認定調査	在宅	1	2	3	3	1	3	2	3	2	3	5	2	30
	施設	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
	合計件数	1	3	3	3	1	3	2	3	2	3	6	2	292

デイサービス

１．延べ人数及び平均介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延人数	369	394	405	392	353	341	371	328	321	295	295	339	4203
平均介護度	2.4	2.6	2.6	2.4	2.5	2.4	2.3	2.3	2.2	2.1	2.1	2.2	2.38

２．インシデント年間集計（令和２年４月１日～令和３年３月３１日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
0	46	5	1	0	0	52

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬等	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
３	１	０	０	０	２	２	０	０	２	４１

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
1	0	0	0	0

ホームヘルパーステーション

休止中

資料２　すこやか大雄

特別養護老人ホーム

１．年齢階層（令和３年３月３１日現在）

平均　：　男性　　84.7　歳　　女性　　88.4　歳

	～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90～94 歳	95～99 歳	100～歳	合計
男	0	1	1	0	2	3	4	0	0	11
女	0	1	2	1	3	13	8	6	2	36
合計	0	2	3	1	5	16	12	6	2	47

２．入居期間別状況（令和３年３月３１日現在）

	～1 年	1～2 年	2～3 年	3～4 年	4～5 年	5 年～	合計
男	3	1	3	1	1	2	11
女	9	5	11	2	3	6	36
合計	12	6	14	3	4	8	47

３．要介護度（令和３年３月３１日現在）　平均　4.28

	1	2	3	4	5	合計
男	0	0	2	3	6	11
女	1	0	3	17	15	36
合計	1	0	5	20	21	47

４．退居理由（令和２年４月１日～令和３年３月３１日）

	在宅復帰	死亡	長期入院	合計
男	0	3	1	4
女	0	9	0	9
合計	0	12	1	13

５．インシデント年間集計（令和２年４月１日～令和３年３月３１日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意　見	その他	合計報告数
8	75	0	1	0	0	84

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
8	14	5	9	6	0	10	1	4	0	23

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
1	0	0	0	0

ショートステイ

１．延べ人数及び介護度

区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
利用延べ人数	286	287	281	321	298	299	304	290	300	299	303	318	3586
平均介護度	2.56	2.77	2.62	2.56	2.58	2.53	2.51	2.37	2.50	2.40	2.38	2.55	2.53

２．インシデント年間集計（令和２年４月１日～令和３年３月３１日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意　見	その他	合計報告数
4	23	0	1	0	0	28

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
3	6	1	1		1	2			4	1

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
1	0	0	0	0

老人介護支援センター

1. 相談件数 種別

相談件数　　重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談	22	17	26	14	17	18	14	14	18	14	15	26	215
継続相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

相談経路　　重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪　　問	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電　　話	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
来　　所	22	17	26	14	17	18	14	14	18	14	15	26	215

相談種別　　重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福祉事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医療･入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設入所	22	17	26	14	17	18	14	14	18	14	15	26	215
各種申請代行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
あんしんﾊﾞﾄﾝ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認知症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高齢者虐待	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

資料３　すこやか森の家

特別養護老人ホーム

１．年齢階層（令和３年３月３１日現在）

平均　：　男性　　93.0　歳　　女性　　87.8　歳

	～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90～94 歳	95～99 歳	100～歳	合計
男	0	0	0	0	0	1	1	1	1	4
女	1	0	0	2	4	6	9	3	0	25
合計	1	0	0	2	4	7	10	4	1	29

２．入居期間別状況（令和３年３月３１日現在）

	～1 年	1～2 年	2～3 年	3～4 年	4～5 年	5 年～	合計
男	1	3	0	0	0	0	4
女	1	7	1	2	2	12	25
合計	2	10	1	2	2	12	29

３．要介護度（令和３年３月３１日現在）　平均　4.03

	1	2	3	4	5	合計
男	0	0	1	2	1	4
女	0	3	3	9	10	25
合計	0	3	4	11	11	29

４．退居理由（令和２年４月１日～令和３年３月３１日）

	在宅復帰	死亡	長期入院	合計
男	0	1	0	1
女	0	2	0	2
合計	0	3	0	3

５．インシデント年間集計（令和２年４月１日～令和３年３月３１日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意　見	その他	合計報告数
13	31	14	1	0	0	59

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
1	5	8	0	1	1	10	0	0	0	32

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
1	0	0	0	0

ショートステイ

１．延べ人数及び介護度

区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
利用延べ人数	534	507	561	521	482	524	582	575	589	569	547	581	6572
平均介護度	2.91	3.07	3.04	3.14	3.24	3.23	3.21	3.16	3.05	3.32	3.19	3.13	3.14

２．インシデント年間集計（令和２年４月１日～令和３年３月３１日）
分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意　見	その他	合計報告数
12	37	14	0	0	0	63

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
9	2	3	4	0	3	10	0	0	2	30

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
0	0	0	0	0

デイサービス

１．延べ人数及び平均介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延人数	478	510	518	535	502	541	569	536	503	458	437	526	6113
平均介護度	2.19	2.05	2.05	2.04	2.13	2.13	2.18	2.20	2.18	2.21	2.21	2.24	2.15

２．インシデント年間集計（令和２年４月１日～令和３年３月３１日）
分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
8	19	19	2	0	0	48

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬等	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
9	0	0	0	0	1	6	0	0	1	29

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
2	0	0	0	0

資料４　シルバードームいきいきの郷

特別養護老人ホーム

１．年齢階層（令和３年３月３１日現在）

平均　：　男性　　84.5　歳　　女性　　86.1　歳

	～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90～94 歳	95～99 歳	100～歳	合計
男	0	1	1	0	1	2	2	1	0	8
女	0	2	5	4	8	4	13	6	0	42
合計	0	3	6	4	9	6	15	7	0	50

２．入居期間別状況（令和３年３月３１日現在）

	～1 年	1～2 年	2～3 年	3～4 年	4～5 年	5 年～	合計
男	1	2	1	1	1	2	8
女	17	5	8	3	0	19	42
合計	18	7	9	4	1	11	50

３．要介護度（令和３年３月３１日現在）　平均　4.66

	1	2	3	4	5	合計
男	0	0	2	2	4	8
女	0	0	0	11	31	42
合計	0	0	2	13	35	50

４．退居理由（令和２年４月１日～令和３年３月３１日）

	在宅復帰	死亡	長期入院	合計
男	0	1	0	1
女	0	17	2	19
合計	0	18	2	20

５．インシデント年間集計（令和２年４月１日～令和３年３月３１日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意　見	その他	合計報告数
0	137	23	0	0	0	160

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
10	4	6	9	34	1	72	0	0	0	24

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
0	0	0	0	0

ショートステイ

１．延べ人数及び介護度

区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
利用延べ人数	289	296	294	280	270	301	333	292	318	286	276	302	3,537
平均介護度	3.3	3.2	3.1	3.0	3.2	3.2	3.3	3.1	3.2	3.2	3.1	3.2	3.2

２．インシデント年間集計（令和２年４月１日～令和３年３月３１日）
分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意　見	その他	合計報告数
2	46	9	0	0	0	57

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
8	1	5	4	0	2	22	0	0	0	15

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
0	0	0	0	0

デイサービス
１．延べ人数及び平均介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延人数	388	380	387	396	383	372	397	378	378	342	355	414	4570
平均介護度	2.4	2.4	2.5	2.5	2.5	2.4	2.4	2.4	2.3	2.3	2.3	2.4	2.4

２．インシデント年間集計（令和２年４月１日～令和３年３月３１日）
分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
3	27	14	0	0	0	44

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬等	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
15	2	0	0	1	0	5	0	0	0	21

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
0	0	0	0	0

居宅介護支援センター
１．ケアプラン介護度別保険請求及び予防プラン・認定調査件数

介護度	%	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	23.2	27	27	27	25	26	26	25	24	24	26	26	29	312
2	37.5	40	37	39	41	43	43	44	44	43	44	43	42	503
3	18.9	24	25	25	22	22	22	19	19	19	17	20	19	253
4	10.8	12	14	13	13	14	13	13	12	13	9	9	10	145
5	9.6	9	9	10	10	11	11	12	11	12	12	11	11	129
合計	100	112	112	114	111	116	115	113	110	111	108	109	111	1342

（予防プラン・認定調査件数）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防	件数	21	20	20	21	22	24	24	25	25	25	25	25	277
認定調査	在宅	1	4	1	0	6	3	3	6	2	3	3	3	35
	施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計件数	1	4	1	0	6	3	3	6	2	3	3	3	312

老人介護支援センター

1. 相談件数 種別

相談件数　　重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談	3	1	3	5	3	4	3	3	5	3	5	3	41
継続相談	1	3	1	1	0	0	2	0	0	1	2	4	15

相談経路　　重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪　　問	3	2	0	1	2	0	5	0	1	1	0	5	20
電　　話	1	2	4	4	1	4	0	1	4	3	7	2	33
来　　所	0	0	0	1	0	0	1	0	2	0	0	0	3

相談種別　　重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護相談	3	4	2	5	3	0	2	2	4	3	6	6	40
福祉事業	3	0	2	3	2	4	1	0	1	2	1	3	22
医療･入院	2	0	1	0	0	0	0	0	4	1	3	3	14
施設入所	0	0	0	1	1	0	1	0	0	1	0	0	4
各種申請代行	0	0	0	0	0	0	1	1	3	1	0	1	7
あんしんﾊﾞﾄﾝ	1	0	1	0	0	3	1	0	0	0	0	0	6
認知症	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	1	4
高齢者虐待	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2

資料５　すこやか館合

特別養護老人ホーム

１．年齢階層（令和３年３月３１日現在）

平均　：　男性　　86.0　歳　　女性　　91.2　歳

	～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90～94 歳	95～99 歳	100～歳	合計
男	0	0	0	0	1	1	1	0	0	3
女	0	0	0	0	2	8	9	5	1	25
合計	0	0	0	0	3	9	10	5	1	28

２．入居期間別状況（令和３年３月３１日現在）

	～1 年	1～2 年	2～3 年	3～4 年	4～5 年	5 年～	合計
男	2	1	0	0	0	0	3
女	7	6	3	4	0	5	25
合計	9	7	3	4	0	5	28

３．要介護度（令和３年３月３１日現在）　平均　4.18

	1	2	3	4	5	合計
男	0	1	0	0	2	3
女	0	0	5	13	7	25
合計	0	1	5	13	9	28

４．退居理由（令和２年４月１日～令和３年３月３１日）

	在宅復帰	死亡	長期入院	合計
男	0	1	1	2
女	0	3	1	4
合計	0	4	2	6

５．インシデント年間集計（令和２年４月１日～令和３年３月３１日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意　見	その他	合計報告数
0	34	24	2	0	0	60

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
2	4	3	5	3	1	8	0	2	3	29

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
1	0	0	1	0

ショートステイ

１．延べ人数及び介護度

区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
利用延べ人数	399	399	448	452	401	393	381	319	349	329	296	402	4,568
平均介護度	2.95	2.92	2.77	2.91	3.03	2.88	3.05	2.93	2.81	2.96	2.96	2.97	2.92

２．インシデント年間集計（令和２年４月１日～令和３年３月３１日）
分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意　見	その他	合計報告数
0	41	52	6	0	0	99

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
9	16	2	12	1	5	9	0	2	15	28

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
6	0	0	0	0

小規模多機能型居宅介護
１．サービス利用状況
利用実績内訳（介護給付）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通い	222	238	260	298	318	288	299	260	275	271	258	290	3,277
泊り	110	110	117	124	140	117	120	83	92	95	86	96	1,290
訪問	4	4	5	4	3	5	4	4	4	4	4	5	50

利用実績内訳（介護予防）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通い	68	70	65	73	74	74	84	74	110	112	68	75	947
泊り	1	1	2	2	6	8	15	10	66	69	31	33	244
訪問	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

２．インシデント年間集計（令和２年４月１日～令和３年３月３１日）
分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意　見	その他	合計報告数
0	20	7	3	0	0	30

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
5	3	0	0	0	0	2	1	0	2	17

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
3	0	0	0	0

居宅介護支援センター

１．ケアプラン介護度別保険請求及び予防プラン・認定調査件数

介護度	%	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	26.7	16	16	15	16	15	14	14	15	15	14	14	16	180
2	28.7	13	14	17	18	18	18	18	17	15	15	16	15	194
3	23.9	13	14	14	13	13	13	12	13	15	15	13	13	161
4	11.1	8	9	9	7	5	6	6	7	4	4	5	5	75
5	9.6	5	6	6	6	6	5	6	4	5	6	5	5	65
合計	100	55	59	61	60	57	56	56	56	54	54	53	54	675

（予防プラン・認定調査件数）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防	件数	17	17	18	18	19	18	21	22	21	19	20	20	230
認定調査	在宅	1	2	0	0	2	1	1	0	1	0	1	5	14
	施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	合計件数	1	2	0	0	2	1	1	0	1	0	2	5	15

資料６　児童発達支援事業「モモの家」

１.入退園状況（令和３年３月３１日現在）　（単位：人）

区分 / 性別	本年度入園児童数	本年度卒退園児童数				計	次年度へ移る
		普通	特学	支援学校	その他		
男	49	6	11	2	0	19	30
女	15	0	4	0	0	4	11
計	64	6	15	2	0	23	41

２.地域別通園状況
（令和３年３月３１日現在）（単位：人）

地域 / 性別	横手	その他	計
男	49	0	49
女	15	0	15
計	64	0	64

３.年齢別表（令和３年３月３１日現在）　（単位：人）

年齢 / 人数	０歳児	１歳児	２歳児	３歳児	４歳児	５歳児	６歳児	その他	合計
合計	0	0	1	6	16	18	23	0	64

４.月別通園状況（令和３年３月３１日現在）　（単位：人）

月別 / 内容	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計
通園延べ人数	101	127	143	141	132	120	152	143	162	142	159	169	1691
療育日数	21	18	22	21	20	20	22	19	20	19	18	23	24
平均人数	4.81	7.06	6.50	6.71	6.60	6.00	6.91	7.53	8.10	7.47	8.83	7.35	6.96

５.障害の種別（令和３年３月３１日現在）　（単位：人）

障害別 / 性別	身体障害者手帳有	診断名有(知的障害)	診断名有(自閉症スペクトラム・注意欠陥多動障害等)	診断名有(ダウン症・てんかん等)	その他	合計
男	0	7	3	3	36	49
女	1	4	1	1	8	15
合計	1	11	4	4	44	64

資料７　県南愛児園「ドリームハウス」

１．在籍状況（毎月１日現在）

本園　（単位：人）

４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
25	24	24	24	24	25	26	27	27	27	28	28

（平均 25.8 人／月　利用率 86.0%）

分園（地域小規模児童養護施設きずな）　（単位：人）

４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6

（平均　6 人／月　利用率 100%）

２．出身地別　（単位：人）

横手市	秋田市	仙北市	大仙市	湯沢市	由利本荘市	潟上市	羽後町	美郷町	東成瀬村	合計
6	5	2	4	6	4	3	1	2	1	34

３．入所理由別人数　（単位：人）

養育困難	4
児童の問題行動による養育困難	1
実母精神障害による養育困難	2
継父による身体的虐待	2
実母による虐待（ネグレクト）	2
実母による心理的・身体的虐待	5
両親による虐待（ネグレクト）	2
母精神障害によるネグレクト	1
実父による身体的、心理的虐待	4
棄児	1
実母による虐待（身体・心理他）	2
両親によるネグレクト身体的虐待	4
養育者死亡による養育困難	1
両親の低育児能力・ネグレクト	1
両親の精神疾患による養育不安	1
母及び母の交際相手からの虐待	1
合計	34

４．学年別　（単位：人）

	幼児	小１	小２	小３	小４	小５	小６	中１	中２	中３	高１	高２	高３	無所属	計
男子	2	0	1	0	1	0	4	3	2	1	1	1	1	0	17
女子	1	2	0	3	1	1	2	2	1	2	0	1	1	0	17
計	3	2	1	3	2	1	6	5	3	3	1	2	2	0	34

資料８　横手市サンハイム

１．入退所及び一時保護の状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	3月末	合計
入所	世帯	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0		2
	人数	0	0	1	0	0	0	2	0	0	4	0	0		8
退所	世帯	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	1	3		8
	人数	0	0	0	0	0	4	3	1	3	4	2	8		25
1日在籍	世帯	14	14	14	14	14	14	13	13	13	12	12	11	8	
	児童	27	27	28	28	28	28	25	24	24	21	21	20	15	
	合計	41	41	42	42	42	42	38	37	37	33	33	31	23	
一時保護【人】					1								1		2

２．措置機関別世帯数

地域別	横手市	羽後町	湯沢市	秋田市	大館市	能代市	県外	計
世帯数	6	2	1	1	1	1	4	16
児童数	11	5	3	1	2	3	8	33

３．世帯構成数

家族の人数	2人	3人	4人	5人	合計
世帯数	6	6	4	0	16

４．入所理由

夫等の暴力や家族からの虐待	入所前の家庭環境の不適切	母親の心身の不安定	住宅及び経済事情	その他（死別等）
11	2	0	3	0

５．母の年齢

母の年齢	20代	30代	40代	50代
人数	6	7	3	0

６．児童の学年

学年	0～2歳児	3～5歳児	小1～3	小4～6	中学生	高校生	合計
男	8	4	1	3	3	0	19
女	3	3	3	2	0	3	14
合計	11	7	4	5	3	3	33

資料９　障害者支援施設「ひまわり社」

１．利用者延人数（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活介護	137	134	160	145	135	137	156	130	149	130	124	159	1696
就労Ｂ	247	214	261	243	215	233	255	216	249	199	188	255	2775

２．利用者数（人）

性別	男性	女性	合計
生活介護	8	2	10
就労Ｂ	9	3	12

３．障害種別（人）

	知的	身体	精神	合計
生活介護	9	3	0	12
就労Ｂ	10	3	0	13

※重複あり

４．障害程度区分

区分	1	2	3	4	5	6	平均区分
生活介護	0	0	3	4	1	2	4.2
就労Ｂ	―	―	―	―	―	―	―

５．日中一時支援事業　利用者延人数（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日中一時支援	69	65	120	104	77	118	116	95	80	47	68	62	1021

６．相談支援事業利用者件数（新規・モニタリングを含む）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談支援（計画・児）	18	13	14	13	10	15	13	12	31	17	13	12	181